

## 施政方針について

**(質問)** みんなが輝き、健康で笑顔あふれるまちにおいて、超高齢化社会を迎えるにあたり関係各機関との連携強化と医療人材、特に看護師や技師（コメディカル）の安定的な確保についての考え方はどうか。また、障がい者の社会参画に向けた取り組みと引きこもり抑止の考え方はどうか。

**(答弁)** 救急医療体制においては救急医療調整会議などで役割分担・課題の検証などを行い、充実に努める。医療人材の安定的確保は鈴鹿医療科学大学との学官連携事業を活用して安定的確保に努める。障がい者の社会参画については農福連携事業・障がい者の就労マルシェなどの事業を実施している。本年から鈴鹿PA「PIT SUZUKA」を障がい者が活躍できる場として活用してゆく。引きこもりへの対応については、関係者からの相談がないと対応が難しいので研究課題としたい。

## 施政方針について

**(質問)** ①昨年の台風21号接近時に長時間にわたり停電が発生したが、その後の対策は。②発生が危惧される南海トラフ地震対策の中でもブロック塀に関する対策について。③異常気象に伴う豪雨や台風の対策は。

**(答弁)** ①全庁的な検証会議を昨年11月に開催し、中部電力とも協議を重ね協力体制を構

築すること、在宅医療患者をはじめとする災害時要援護者に対する福祉担当班の業務を整理することなど、対策をしっかりと実施していく。②ブロック塀などの除去工事に対する助成について昨年度まで助成していた幅員4メートル以上の道路に加え狭隘道路沿いのブロック塀も対象とした。③市民の生命、財産を守るため本年3月に策定した「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」に基づき、浸水リスクの高い地区から施設の改修整備を進める。

## 市長の施政方針について

**(質問)** 「鈴鹿市総合計画2023」の6つの柱を中心とした施政方針について、策定時から4年目を迎えた今、取り巻く環境の変化、現状を注視し、重点施策を選択し、注力すべきであり、6つの柱に対し各々に①防災、②教育、③高齢者、④公共交通、⑤産業振興、⑥地域づくりを各柱の核とし、重点施策の具現

化などに取り組むべきであると考えがいか

**(答弁)** 第1の柱は、地域の特性を把握した地区防災計画の作成に。第2の柱は、教育予算の更なる充実に。第3の柱は、大学との連携を調査研究に。第4の柱は、総合的な公共交通体系の構築に。第5の柱は西部地域のロケーションと農業資源を活かした集客交流に。第6の柱は地域づくりを核とし、協働と対話により市民が主体となった地域づくりを推進していく。

## 施政方針について

**(質問)** 児童生徒の安全安心のため、防犯灯などの設置を計画的に進めるべきと考える。また、市内の広場やごみ集積所等へ、防犯カメラの設置が進むことにより、市民が安全で安心できるまちづくりにつながると考える。そこで防犯カメラの設置を後期基本計画にうたっていくべきと考えるが、いかがか。

**(答弁)** 犯罪を抑止する環境づくりの一環として、自治会が設置する防犯灯のLED化を推進するとともに、防犯カメラについても計画的に設置を進めている。防犯カメラについては、近鉄鼓ヶ浦駅と近鉄伊勢若松駅の自転車駐車場にカメラを設置する予定で準備を進めている。今後の設置箇所については、鈴鹿警察署とも十分協議した上で近鉄沿線の自転車駐車場に順次設置する。自治会などを対象とした防犯カメラの設置に係る支援についても今後、実行計画の中でも検討していきたい。